

日銀短観

(1) 日銀短観について

日銀短観とは

正式には、日本銀行短期経済観測と呼ばれ、TANKANは英語にもなっているくらい、国際的にも重要な統計。

企業経営者へのアンケート調査で、アンケートをもとにDI（ディフュージョン・インデックス：回答者の構成比を示す指標）で表される。

(例)業況判断DIの場合

業況判断DI

= 景気が良いと答えた企業数の割合(%) - 景気が悪いと答えた企業数の割合(%)

業況判断DIはさまざまな企業の業種、規模に分けて作成されている。

大企業製造業 大企業非製造業 中小企業製造業 中小企業非製造業の4つに分けて分析することが多い。

(2) 分析のポイント

水準を見る。ゼロを越えていれば、景気が良いことを示し、マイナスなら景気が悪いことを示す。

方向を見る。グラフが上向きになっていれば、景気が良くなっていることを示し、下向きなら悪くなっていることを示す。

(参考)

インターネットからデータのダウンロードする場合のファイル形式

エクセル形式

CSV形式（カンマで区切ってある。自動的にエクセル形式で表示される）

テキスト形式

TAB形式

テキスト形式のデータをエクセルに持ってくるには、一度テキストファイルをダウンロードして、エクセルを起動してから開く必要がある。

(3) 日本銀行ホームページからのダウンロードの方法

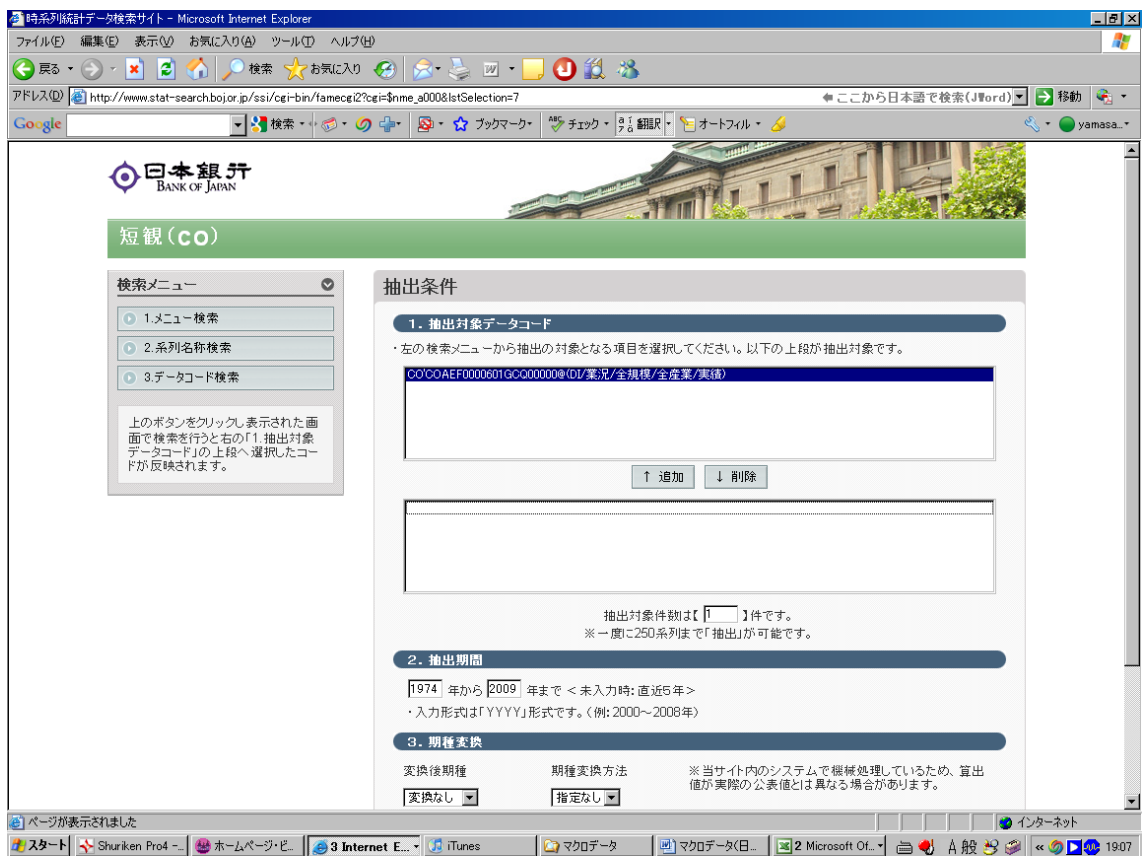
日銀ホームページ 右側の列「統計」「短観」「時系列データ」



短観

検索メニュー 1. メニュー検索 「判断項目」を選んで「展開」 「判断項目(D.I.)」を選んで「展開」 業況(「良い」 - 「悪い」)を選んで「展開」 全規模合計を選んで「展開」

D!業況 / 全規模 / 全産業 / 実績 を選んで「決定」



1. 抽出データコード すでに CO'COAEF0000601GCQ00000@DI/業況/全規模/全産業/実績が入っているはず。

2. 抽出期間 1974 から 最新年

3. 期種変更

「抽出」を押す。



何も買わずにダウンロードを押すと「ファイル名」が出てくる
テキストデータのダウンロードの方法

・ダウンロード

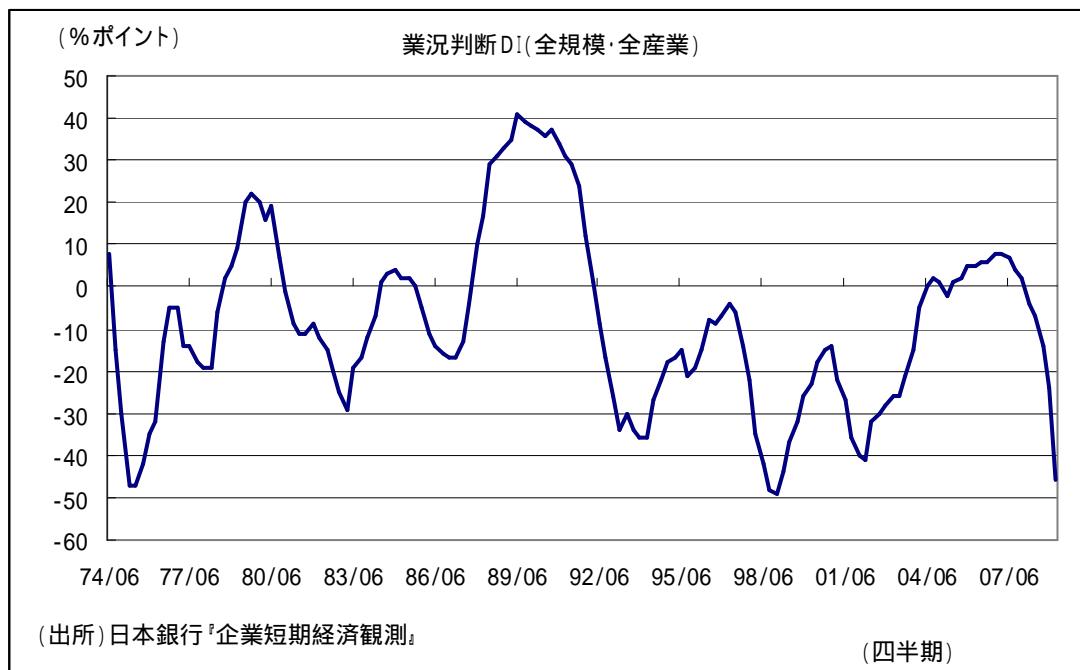
「ファイル名」をマウスで「右クリック」(マウスの左右のキーのうち右側を1回クリック)し、メニューから「対象をファイルに保存」を選択する。次に、ファイルの保存先を聞いてきますので、適当なディレクトリ(例えばデスクトップなど)を指定して保存する。

・ エクセルを起動してテキストファイルを開く

開く 下のファイルの種類を「すべて」にする 保存したファイルを指定 開く
カンマや区切り文字などで... を選択 次へ タブを選択して開くを選ぶ。

(注意)

横軸の期間の表記は、「軸の書式設定」 「表示形式」で変える。ユーザー定義を選んで、ボックスに yy/mm と入力する。



・課題：ある産業（鉄鋼など）と全産業のDIを一つのグラフに描いて比較してみる。（４）

日本銀行のホームページから取れる指標

公定歩合

無担保コール・平均

マネーサプライ（M2 + CD）

マネタリーサーベイ

企業物価指数（前年同月比）

国際収支統計

日経平均株価

日銀短観（業況判断DI）